

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 前 川 秀 和
(公 印 省 略)

第725回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）
開催のご案内について

謹啓 本協会事業について、平素よりご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

本協会では、標記建設技術講習会を別紙のとおり開催いたします。

本講習会では、これからの建設行政と公務員技術者、これからの社会資本マネジメントに関する施策の体系と今後の展望、グリーンインフラ戦略と道路、未来を拓くインフラ・プロジェクト、公共事業とメディア報道の関係、気候変動に備える流域総合水管理の推進、i-Constructionとインフラ分野のDXの推進等について学ぶことを目的としています。

つきましては、本講習会を貴協会の技術力研鑽の活動としてご活用いただきますようお願いいたします。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX 03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com

全建発第8－089号
令和8年 7月15日

国土交通省地方整備局 企画部長 殿
都道府県 建設関係部局長 殿
市町村長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 前 川 秀 和
(公 印 省 略)

第725回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）
開催のご案内について

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本協会は、国土交通省・農林水産省をはじめ、都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約5.5万名で構成されています。

建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上、連携・交流の促進を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び、良質な社会資本の整備・保全を通じて、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。

本協会の講習会は、道路、河川等各部門の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからのインフラの維持管理・更新等、建設事業の実施に当たって特に重要な課題を取り上げております。また、講師には建設行政等の各分野に造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察等、業務に直接役立つ内容となっております。

この度の標記建設技術講習会は、これからの建設行政と公務員技術者、これからの社会資本マネジメントに関する施策の体系と今後の展望、グリーンインフラ戦略と道路、未来を拓くインフラ・プロジェクト、公共事業とメディア報道の関係、気候変動に備える流域総合水管理の推進、i-Constructionとインフラ分野のDXの推進等について学ぶことを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨をご理解の上、本講習会を研修の一環としてご活用いただき、貴機関職員のご参加についてご高配を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

(一社)全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX 03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com
--

第725回建設技術講習会のポイント



万代島ルート線 国道7号栗ノ木道路・紫竹山道路整備事業

公共事業の未来を見据え、建設技術者の役割を考える

○開催日：令和8年9月16日（水）～9月18日（金）

○開催場所：新潟県新潟市

○テーマ：これからの公共事業と建設技術者のあり方

○主な講義内容

- ・ 谷口博昭氏が「これからの建設行政と公務員技術者」を語る
- ・ 国交省講師による社会資本マネジメント、流域総合水管理、インフラDXなど最新施策の解説
- ・ 道路・河川・メディアとの関係など、多角的な視点から公共事業を考える

○現場研修

- ・ 交通渋滞緩和や都市交通ネットワーク強化を目指す

万代島ルート線 国道7号栗ノ木道路・紫竹山道路整備事業〔北陸地整〕

- ・ 治水と自然環境の調和を図る広域河川改修事業 福島潟河川改修事業〔新潟県〕
- ・ 駅周辺の総合的な整備による都市機能・交通結節機能の強化 新潟駅周辺整備事業〔新潟市〕

第725回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）概要
～公共事業が抱える諸課題への対応と今後の事業の展開、公務員技術者の役割などについて学ぶ～

会場 …… 新潟市民プラザ（NEXT21ビル6F）
〒951-8061 新潟県新潟市中央区西堀通6-866 NEXT21ビル6F
TEL025-226-5500

（1日目）		開場11:40	令和8年9月16日（水）		（敬称略）	
12:40 }	あいさつ		新潟県知事	花 角 英 世		
13:00			新潟市長 （一社）全日本建設技術協会 専務理事	中 原 八 一 柿 崎 恒 美		
13:00 }	これからの建設行政と公務員技術者		（公社）土木学会第109代会長 芝浦工業大学客員教授 （一社）国土政策研究会 会長	谷 口 博 昭		
14:30						
14:40 }	これからの社会資本マネジメントに関する施策の体系と今後の展望		国土交通省大臣官房技術調査課長	田 村 央		
15:40						
15:50 }	小さな「みち」の大きな改革 ～グリーンインフラ戦略も視野に～		筑波大学名誉教授・学長特別補佐 S I P「スマートモビリティプラットフォームの構築」PD	石 田 東 生		
16:50						
17:30 }	「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」＜希望者のみ＞					
19:00	GIOIA MIA（ジョイアミーア）					
（2日目）		開場 9:10	9月17日（木）		（敬称略）	
9:40 }	未来を拓くインフラ・プロジェクト		（一社）日本プロジェクト産業協議会 国土・未来プロジェクト研究会 委員 中央復建コンサルタンツ(株)代表取締役社長	白 水 靖 郎		
10:40						
10:50 }	公共事業とメディア報道の関係		読売新聞東京本社経済部次長	鎌 田 秀 男		
11:50						
13:00 }	気候変動に備える流域総合水管理の推進		国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川技術調整官	菅 良 一		
14:00						
14:10 }	【地域事業の紹介①】万代島ルート線 国道7号栗ノ木道路・紫竹山道路整備事業について		国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所 事業対策官	大 島 淑		
14:30						
14:30 }	【地域事業の紹介②】一級河川福島潟 広域河川改修事業 福島潟水門及び水門周辺整備		新潟県新潟地域振興局地域整備部治水課長	野 沢 武 志		
14:50						
14:50 }	【地域事業の紹介③】新潟駅周辺整備事業によるまちづくりについて		新潟市都市政策部新潟駅周辺整備事務所 主幹	木 原 寿 明		
15:10						
15:20 }	i-Constructionとインフラ分野のDXの推進		国土交通省大臣官房技術調査課事業評価・保全企画官	齋 藤 正 徳		
16:20						
16:20 }	閉会のあいさつ		新潟県土木部技監	青 木 長 務		
（3日目）		集合 8:30～	9月18日（金）		【現場研修】	

J R新潟駅南口「PLAKA1」前 ジュンク堂前バス乗り場（8:50）出発
→ 福島潟河川改修事業〔新潟県〕→ 万代島ルート線 国道7号栗ノ木道路・紫竹山道路整備事業〔北陸地整〕
→ 昼食（新潟市内）→ 新潟駅周辺整備事業〔新潟市〕
→ J R新潟駅南口（15:30）着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

全建CPD制度（建設系CPD協議会加盟）：聴講8.5単位／現場1.25単位

第725回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 万代島ルート線 国道7号栗ノ木道路・紫竹山道路整備事業〔北陸地整〕

…………… 新潟県新潟市

- ・万代島ルート線は、新潟バイパス紫竹山 IC から中央区寄居町に至る全長約 5.6km の都市計画道路であり、平成 4 年に都市計画決定され、高速道路や新潟バイパスといった東西方向を結ぶ道路と新潟市中心部を南北方向に結び市街地部での慢性的な交通渋滞の緩和、交通事故の削減、中心市街地へのアクセス向上及びまちづくり支援などが目的である。
- ・柳都大橋を含む延長約 1.5km 区間が先行して開通し、現在は、国道 7 号栗ノ木バイパスで「栗ノ木道路（延長約 1.4 km）」と「紫竹山道路（延長約 0.7 km）」の橋梁上部工・下部工及び改良工事を進めている。
- ・また、令和 4 年度には柳都大橋と栗ノ木バイパス区間を立体道路で結ぶ「沼垂道路」が事業化された。



2 福島潟河川改修事業〔新潟県〕

…………… 新潟県新潟市

- ・新井郷川及び福島潟の流域では、平成 10 年 8 月の洪水によって、大きな被害が発生した。これを契機に福島潟へ流入する支川の折居川・荒川川で河川改修が進められるとともに、潟から新潟東港へ洪水を流す福島潟放水路が平成 15 年に通水した（平成 16 全建賞受賞）。
- ・しかし、中流部に位置している福島潟の周辺では上流からの洪水の流入や、洪水時の福島潟の水位の上昇に対して十分な対策が図られていないことから、平成 15 年から広域基幹河川改修（大規模）事業として、湖岸堤及び水門を整備する事業を行っている。
- ・福島潟はオオヒシクイの日本一の越冬地で、オニバスの北限地であるなど「動植物の宝庫」として知られており、河川工事と環境保全の調和、完成後の景観への配慮をしながら河川工事を進めている。



3 新潟駅周辺整備事業〔新潟市〕

…………… 新潟県新潟市

- ・新潟駅周辺整備は、日本海側の拠点にふさわしい都市機能の強化に向けて、鉄道在来線の高架化や立体交差道路、駅前広場等の都市基盤をはじめとした、駅周辺市街地の総合的な整備を図るものであり、平成 18 年度に事業化した。
- ・令和 4 年度には在来線全線が高架化され、さらに令和 5 年度には駅の高架下で、「新潟駅バスターミナル」が開業し、乗換え利便性が向上した。
- ・駅北側にある駅前広場「万代広場」では、円滑な交通処理を図るとともに人々が憩い集うことができる居心地の良い空間となるよう、令和 9 年春の全面供用開始に向けて、中央広場などの整備を進めている。



第725回建設技術講習会【聴講】について

1. 申込み方法：以下の専用ページからお申込みください

https://niccs.nishitetsutavel.jp/ntc_evt_reception/app/QG01310401

※専用ページ内のFAQ及び「操作方法のご案内」をお読みください。

前開催から操作方法の変更がある場合がありますので必ずご確認ください。

次頁「7. お申込み（入力内容）についてのご注意」もご確認ください。

2. 聴講料：以下の表をご確認ください（金額は税込み）。

一般（非会員）／会員の確認をしますので、お間違えのないようにご注意ください。

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	22,000円	13,700円	13,700円	13,700円
開催県内に勤務されている方	13,700円※3	2,100円	2,100円※2	—
開催県内の市町村職員※1	2,100円	0円	—	—
開催地区連合会管内の市町村職員※1	22,000円	2,100円	—	—
30歳未満の方	22,000円	2,100円	—	—
開催県内の学生	0円	—	—	—

※1 政令市職員は対象外です。

※2 特別会員は開催県内に勤務又は在住の方が対象です。

※3 非会員は国・県・政令市に勤務の方のみが対象です。

3. 聴講料の振り込み

次の銀行口座にお振り込みください（振り込み手数料はご負担願います）。

三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ）ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

（お願い）

お振り込み名義は、725（開催回数）＋参加者名（複数名分の場合は協会名）と
してください。（例：「725ヤマダ タロウ」「725サイタマケン」）

名義変更が不可能な場合、変更をし忘れた場合はkensyu@zenken.com まで振り込み
日と名義をお知らせください。

- ・※受付確認のメールを受信後、原則 **開催前日**までにお振り込みをお願いします。
お支払いに**請求書**が入用な場合は、余裕をもってお申込みください。
- ・お振り込み後、振込明細書等を kensyu@zenken.com へ送付してください。
- ・お振り込みの証明については、振込明細書等をもって領収書に代えさせていただきます。領収書が必須な場合には、お振込完了後、<https://zenken.com/receipt.html> からお手続きください。
- ・会場でのお支払いはご遠慮願います。

4. 申込み締切り：令和8年8月19日（水）正午まで（必着）

※**締切り後**にお申込みを希望される場合は、**必ずお申込み前に全建**
(03-3585-4546) にご相談ください。なお、締切り後はお申込みを
受理できない場合がありますので、予めご了承ください。

5. 変更・取消し：全建・西鉄旅行 共用アドレス

Mail: nishitetsu@zenken.com までご連絡ください。

なお、取消しの場合は以下の取消料が生じます。

取消し日	取消し料
7 日前～前日	聴講料の 50 %
当 日	聴講料の 100 %

講習会終了後、所属協会等の指定口座へ取消し料及び振り込み手数料を差し引いた金額をご返金します。

なお、申込み以降に発生した災害対応業務に係る取消しの場合は、取消し日に関わらず全額（振り込み手数料は本会負担）をご返金します。

6. その他

- ・聴講会場への大きな荷物の持ち込みは、できるだけご遠慮ください。
- ・テキストは当日受付にてお渡しします。
- ・受講証は各日の講義終了後にお渡しします。
- ・参加者には、国内旅行傷害保険をお掛けします。ただし、開催 14 日前以降の申込み及び変更後の参加者については対象外となりますのでご了承ください。
- ・事故防止のため、自家用車での参加はご遠慮願います。
- ・講習会情報については全建ホームページ (<http://www.zenken.com/>) をご覧ください。

7. お申込み（入力内容）についてのご注意

(以下の入力についての間違いが多くなっています)

- ・「地方協会＊」欄は、プルダウンの 1) ～ 8) の中から、所属する地方協会等が所在する地区を1つ選択した後、次に表示されるプルダウンで所属機関名を選択してください。
(所属機関が選択肢にない場合のみ、所在する都道府県を選択してください。)
- ・申込者と参加者が異なる場合は、「申込者名／参加者名」欄に表示されている「申込者名（漢字表記）」を「参加者名」に上書きしてください。また、「参加者名（カナ）」欄には参加者名をカタカナで入力してください。
- ・変更・取消しの際は、必ず以下までメールにてご連絡ください。
Mail: nishitetsu@zenken.com

8. お問い合わせ先（内容別）

- ① ・聴講の申込みについて
・聴講料のお支払いについて
・聴講料、現場研修料の請求書発行について
・講習会の内容等について
(一社) 全日本建設技術協会（登録番号：T4010405000433）事業課 杉戸、黒崎
E-MAIL kensyu@zenken.com TEL 03-3585-4546
- ② ・お申込内容の変更・取消について
E-MAIL nishitetsu@zenken.com (全建・西鉄旅行共有メールアドレス)
- ③ ・申込専用ページの操作方法について
・現場研修料のお支払いについて
・宿泊斡旋について
・現場研修での昼食（食物アレルギー）について
西鉄旅行（株）東京団体支店（登録番号：T2290001009530）全建担当デスク
E-MAIL zenken@nnr-g.com TEL 03-6742-0325

第725回建設技術講習会【現場研修】について

1. 日程：令和8年9月18日（金）8:50～15:30

集合（乗車）8:30～

J R新潟駅南口「PLAKA1」前 ジュンク堂前バス乗り場（8:50）出発

→ 福島潟河川改修事業 [新潟県]

→ 万代島ルート線 国道7号栗ノ木道路・紫竹山道路整備事業 [北陸地整]

→ 昼食（新潟市内）→ 新潟駅周辺整備事業 [新潟市]

→ J R新潟駅南口（15:30）着後解散

※現場研修のみの参加はできません。

※上記行程は都合により変更となる場合があります。

2. 添乗員：（一社）全日本建設技術協会 事務局員及び西鉄旅行(株)添乗員

3. 現場研修料：10,400円（税込）

※昼食の費用は含まれていません

（飲食施設等にご案内後、各自で自由昼食となります）。

※受付確認のメールを受信後、原則 **開催前日**までにお振り込みをお願いします。

お支払いに**請求書**がご入用の場合は、余裕をもってお申込みください。

（お願い）

お振り込み名義の頭に、**申込コード**を記載してください。

（例：1名の場合「ABC1 ヤマダ タロウ」

複数名の場合「DEF2 GHI3 サイトマケン」）

名義変更が不可能な場合、変更をし忘れた場合はzenken@nnr-g.com まで振り込み日と名義をお知らせください。

現場研修料のお振り込み先、お支払い方法等については、西鉄旅行(株)からのご案内及び専用ページ内「操作方法のご案内」を必ずご確認ください。

4. 申込み方法：聴講と併せて、以下の専用ページからお申込みください。

https://niccs.nishitetsutrans.co.jp/ntc_evt_reception/app/QG01310401

※専用ページ内のFAQ及び「操作方法のご案内」をお読みください。

前開催から操作方法の変更がある場合がありますので必ずご確認ください。

5. 申込み締切：令和8年8月19日（水）**正午**まで（必着）

※**締切り後**にお申込みを希望される場合は、**必ずお申込み前に全建**

(03-3585-4546) にご相談ください。なお、締切り後はお申込みを受理できない場合がありますので、予めご了承ください。

6. 変更・取消し：全建・西鉄旅行 共用アドレス

Mail: nishitetsu@zenken.com までご連絡ください。
なお、取消しの場合は以下の取消し料が生じます。

取消し日	取消し料
10日前～8日前	現場研修料の 20%
7日前～前々日	現場研修料の 30%
前日	現場研修料の 40%
当日	現場研修料の 50%
無連絡不参加及び開始後	現場研修料の 100%

7. 旅行企画実施：西鉄旅行（株）東京団体支店

東京都港区東新橋1-8-3 汐留エッジ8階

TEL 03-6742-0325 FAX 03-6742-0328 MAIL zenken@nnr-g.com

登録番号：T2290001009530

観光庁長官登録旅行業第579号 （一社）日本旅行協会正会員

8. その他：

- ・ヘルメットの持参は不要です。必要な現場がある場合には全建にてご用意します。
- ・視察資料は現場研修の当日、集合場所にてお渡しします。
- ・参加証は全行程の終了後にお渡しします。
- ・参加者には国内旅行傷害保険をお掛けします。ただし、開催14日前以降の申込み及び変更後の参加者については対象外となりますのでご了承ください。
- ・事故防止のため、自家用車での参加はご遠慮願います。
- ・詳しい取引条件を説明した書面を事前にご確認の上お申込みください。

9. お問い合わせ先（内容別）

- ① ・聴講の申込みについて
・聴講料のお支払いについて
・聴講料、現場研修料の請求書発行について
・講習会の内容等について
(一社) 全日本建設技術協会（登録番号：T4010405000433）事業課 杉戸、黒崎
E-MAIL kensyu@zenken.com TEL 03-3585-4546
- ② ・お申込内容の変更・取消について
E-MAIL nishitetsu@zenken.com（全建・西鉄旅行共有メールアドレス）
- ③ ・申込専用ページの操作方法について
・現場研修料のお支払いについて
・宿泊斡旋について
・現場研修での昼食（食物アレルギー）について
西鉄旅行（株）東京団体支店（登録番号：T2290001009530）全建担当デスク
E-MAIL zenken@nnr-g.com TEL 03-6742-0325

【講習会会場及び現場研修集合場所等 案内図】



第725回建設技術講習会に参加の皆様へ

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します！



本協会主催の建設技術講習会・実地研修会には、全国各地から多くの皆様にご参加いただいています。

この機会に参加者同士が交流を深め、意見・情報交換を行うことで知見と人脈を広げ、今後の業務に活かしていただくため「参加者同士の交流会」を開催します。

この交流会は、講師の方々にもご参加いただき、直接質問や交流ができる場としています。皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和8年9月16日（水） 17：30 ～ 19：00（予定）

場所：GIOIA MIA（ジョイアミーア）

〒951-8065 新潟県新潟市中央区東堀通1016-1

（会場及び現場研修集合場所案内図 参照）

会費：2,000円

（受付時にお支払いください）

※都合により、開催を中止とすることがあります。

※参加希望人数によって、開催を中止とすることがあります。

※開催時間は変更になることがあります。

その際は開催当日にご案内いたします。

※参加希望の方は、申込ページの「交流会」欄の「参加する」を選択して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※服装は特に問いません。



1. 参加者同士の交流促進を図る

①参加者の知見と人脈を広げる（名刺交換） ②意見交換・情報交換

2. 講師との交流・懇談 ※参加講師は都合により変更になる場合があります。

参加予定の講師：谷口 博昭氏 国交省 田村氏 筑波大 石田氏（ほか調整中）

宿泊斡旋のご案内

参加者には、西鉄旅行(株)が開催地ホテルの宿泊斡旋をいたします。
講習会参加のお申込みと併せて、下記ページからお申込みください。

https://niccs.nishitetsutrans.co.jp/ntc_evt_reception/app/QG01310402

お問合せ先：西鉄旅行（株）東京団体支店 全建担当デスク
Mail：zenken@nnr-g.com
TEL：03-6742-0325

お申込み後の宿泊予約の取消や変更については、上記までご連絡ください。